

子ども食堂で振舞われました

4月26日(月)、台湾との友好記念式典が鹿児島市で開催され、町長が出席しました。

大崎町は、東京オリンピック・パラリンピックの台湾選手を受入れるホストタウンになっています。今回の式典は、オリンピック後の交流も視野に入れて台湾から招待を受けたものです。台北駐日経済文化代表処の謝長廷代表(大使に相当)から町に、記念品のパイナップルが寄贈されました。

頂いたパイナップルは、町内の『のがた子ども食堂』、『子ども食堂いちごちゃん』で子どもたちに提供または配布されました。



役場で3日間の職場体験学習

大崎中学校3年生が5月11日(火)から13日(木)の3日間、町内の各事業所で職場体験を行い、役場では4名の生徒を受け入れました。

生徒は、各課の業務について学んだほか、文書の発送準備や、大崎町クリーンセンターの見学をしました。初日は緊張していた様子でしたが、楽しみながらも真剣に学んでいるようでした。

楠原琉碧さんは「役場は人を助ける場所というイメージがあり、職場体験先に選びました。3日間、楽しかったです。将来の候補に役場職員があります」と話されました。



4 くにの松原キャンプ場 人用バンガローがオープン

くにの松原キャンプ場では、今までの、6人用バンガロー、8人用バンガロー、オートキャンプサイト、フリーキャンプサイトに加え、新たに4人用バンガローを林内から朝日が望める絶好の位置に整備しました。

備え付けの寝具はセミダブルベッド2台で、1台に大人1人子ども1人が寝るのに最適なサイズです。他にも、キャンプに必要な備品や設備が充実しており、少量の荷物で宿泊が可能です。

くにの松原キャンプ場のウェブサイトから予約や詳しい情報を確認できます。

